

目標達成計画

作成日:平成31年3月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	<p><日常的な外出支援> 季節により熱中症や感染症の心配があるため、外出を控えていただいている。 病院受診やご家族様と外出される方以外は、外出機会が少なく、気分転換がしづらい状況となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関先での外気浴や敷地内の散歩等、屋外で過ごす機会を増やす。 ・近場のドライブや買い物や外食等の機会をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①時候の良い時に、玄関先でおやつを食べたり、歌を歌ったり、花や野菜の世話をさせていただいたりする。 ②敷地内や近場の散歩の支援をする。 ③ご家族様の協力や担当職員を中心に、買い物や外食、ドライブ等の機会をもつ。 ④各棟職員が合同で外出支援に取り組む。 	12ヶ月
2	48	<p><役割、楽しみごとの支援> 認知症の進行度がまちまちで、皆が楽しんで参加できることが少なくなっている。またレクリエーションが単調になっていること、運動不足などが課題となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの内容が慣性化しないように、新しいものや季節感のあるものを随時取り入れていく。 ・個別や集団でのレクリエーションや体操をそれぞれ提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各棟合同のレクリエーションや体操の機会をもつ。 ②誕生日会のほか、季節ごとのイベントを実施する。 ③各棟職員で好評だったレクリエーションや体操の内容を共有する。 ④運動・手芸・ゲーム等、少しずつ職員がレクリエーション技術を習得し、実践する。 	12ヶ月
3	35	<p><災害対策> 年2回、火災時の避難訓練は、日勤帯・夜勤帯ともに実施できているが、洪水時の避難訓練は実施できていない。毎年8月・9月頃台風による大雨が頻発していることから、洪水時の避難訓練、計画作成を実施しておく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時の避難訓練に加えて、洪水時の避難訓練(グループホーム2階へ避難する)も実施すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①防災委員を中心に、洪水時の避難マニュアルを作成する。 ②火災時の避難訓練に加えて、洪水時の避難訓練も行う。 ③水や食料の確保等、備蓄品の検討をする。 	12ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。